

令和4年度（2022年度）  
事業実績報告書

1. 申請者の概要

申請者	団体名	熊取町商工会	
	代表者職・氏名	会長 辻 正義	
	所在地	〒590-0451大阪府泉南郡熊取町野田2-9-20	
	担当者	職・氏名	事務局長 東 英彦
		連絡先	TEL（直通）： 072-453-8181
Fax： 072-453-8183			
E-mail： <a href="mailto:kumatori@silver.ocn.ne.jp">kumatori@silver.ocn.ne.jp</a>			
①設立年月日	昭和59年7月10日		
②職員数 （うち経営指導員数）	5名（経営指導員5名）（令和5年3月31日現在）		
③所管地域			
④管内事業所数	1239（平成28年度経済センサス）		
⑤管内小規模事業者数	892（平成28年度経済センサス）		
⑥会員数（組織率）	681（令和5年3月31日現在）		
※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること			
<input type="checkbox"/> 主な事業概要（定款記載事項等）			
<p>①商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。 ②商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。 ③商工業に関する調査研究を行うこと。 ④商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。 ⑤展示会、共進会を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。 ⑥商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。 ⑦商工会としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。 ⑧行政庁等諮問に応じて、答申すること。 ⑨社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。 ⑩商工業者の委託を受けて、当該商工業者が行うべき事務（その従業員のための事務を含む。）を処理すること。 ⑪商工業者の福利厚生に資する事業を行うこと。 ⑫行政庁から委託を受けて事業を行うこと。</p>			

## (1) 事業の目標

熊取町商工会は、小規模事業者が抱える経営課題を把握して解決するため指導員が窓口・巡回指導を行い、サービス提案をして事業所の課題解決をはじめ施策のPR、情報の発信等を行うなど様々な面からの確にそして総合的に支援することで事業所の安定的持続発展に寄与する。また専門的な課題は各関係支援機関、専門家等と連携を図りその解決に向けたきめ細やかな支援を行うことで事業者が持つ課題を速やかに解決まで導く。また地域活性化事業は新型コロナウイルス感染症対策を講じながら創業支援、情報発信事業、事業承継支援、地域ブランド力向上事業、くまとり産業フェアなど事業所の参加を促す事業を積極的に実施した。また、大阪府連携、近隣の商工会、商工会議所との広域連携、また熊取町と連携を図ることでBCP普及啓発や策定ワークショップ事業を積極的に展開し、より多くの参加事業者のビジネスチャンス創出や販路拡大に繋げ企業の成長を促していく。

## (2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

経営指導員による相談支援事業は、事業者の抱える経営課題や問題点等を把握するため窓口・巡回時において事業者とより多く接点を持つよう心掛け、親切、丁寧に指導に取組んだ。また指導員間ではカルテ等で情報を共有し事業所の課題を把握してニーズに沿った情報の提供や提案等を行うなど、指導員が一丸となり迅速かつ的確な支援を行い経営課題の解決に努めた。そして専門的・高度な課題の解決は関係機関や専門家との連携を保ちながら諸問題を解決すべく専門相談事業に導く様に心掛けた。そして税務支援は年末調整・確定申告時期を重点に消費税の軽減税率やインボイス制度への対応など事業所にとって複雑な問題の解決のため窓口相談を実施した。また金融支援を計画し実施することで新型コロナ等で資金繰りに苦慮する事業者を金融相談会を経て資金調達まで速やかに導く事が出来た。地域活性化事業は、府・各市町・各商工会・商工会議所と連携を図り、新型コロナ対策を万全に講じDMやチラシ、熊取町と連携した広報等を通じPRしてセミナー等もリアルに開催できた。また各事業に沿うような内容等であれば事業所の個別訪問を行い地域活性化事業への参加を促す事ができた。創業セミナー事業は、大阪産業局と連携する事での確な講師を派遣して頂き、これから起業する方が参加し易くするために受講料無料で開催した。情報発信事業は熊取町図書館と連携を図り、事業所の展示物やそれに関連した書籍を図書館の関係者に展示して頂く事で、訪れる来館者に展示事業所のPRができた。地域ブランド力向上事業は熊取駅ギャラリーを利用して「熊取町ブランド認定品くまとりやもん」<sup>TM</sup>として認定を受けた事業所のパネル展示等をする事で、より一層ブランド認定事業所のPRと地域ブランドの向上を図る事ができた。くまとり産業フェアは新型コロナ対策を万全に講じ3年ぶりに熊取町農業祭と同時に盛大に開催する事ができた。

## (3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況

令和2年当初から続く新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、商工会における事業計画等は様々な感染防止対策を万全に講じることで開催中止も無く全ての計画した事業は開催する事ができた。相談支援事業も新型コロナ影響での相談が多くなり、様々な問題解決に取り組んだことにより、商工会は地元の中小零細企業の良きパートナーとして身近な相談窓口である事を再認識させられた。その様なコロナ禍での相談支援事業では事業所を訪問することで様々な課題が浮き彫りとなりその課題解決に向けて情報提供や提案等を行うなど、事業所のニーズを迅速かつ的確に把握し問題への対応策等を対処でき、経営者の課題解決に向け効果的な支援ができた。地域活性化事業に於いては創業セミナーは今年度も大阪産業局から優れた講師を派遣して頂き充実したセミナーとなり、今年度飲食店の開業を目指す方をアシストした事に加え開業後も様々な面でサポートする事ができた。情報発信事業では、熊取町図書館と連携を図り、事業所のPRとその事業所の内容に関連した書物の展示により、より一層事業所の取組みに興味を持って頂く事ができた。事業承継セミナーは今まで先送りにしていた事業承継問題を解決に導く切っ掛けとなり参加事業所の意欲向上が図れた。地域ブランド力向上事業は熊取駅ギャラリーを利用して「熊取町ブランド認定品くまとりやもん」<sup>TM</sup>のPRをすることにより、認定商品の認知度の向上を計る事ができた。くまとり産業フェアは新型コロナ感染者が減少している時期に感染対策を万全を期して、3年ぶりに熊取町農業祭と同時に盛大に開催する事ができた。専門相談支援事業は税務相談を実施して年末調整、確定申告相談、そして2023年10月からのインボイス制度の対応や専門的な対応と税の正しい認識と申告納税へと導く事ができた。専門相談支援事業として金融相談事業も開催しており、毎月1回の日本政策金融公庫担当者との金融相談会は事業所にとってより良い相談機会となり事業資金が利用し易いものとなっている。

#### (4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

令和4年度は、熊取町商工会としても新型コロナ禍ではあったが感染防止対策を講じて実施したため、相談支援事業・専門相談支援事業・地域活性化事業等全ての事業計画を遂行する事ができた。商工会の事業への参加、活用された事業所について効果や実績満足率などで一定の高評価を残すことができた。現在も事業所に寄添った伴走的な支援を継続しているが、まだまだ商工会の事業に参加されていない事業所も多い。そのため、地域の商工業者の方により一層参活用して頂くべく、より良い情報の提供や提案等を積極的に行い浸透を図る。また創業支援や後継者問題にも積極的に取り組み地域経済全体に活力が行き渡るよう、様々な事業、施策を展開し、多くの事業所に活用して頂くことで活性化へと導くためには、今後も商工会の果たす役割は大きいと考える。

#### (5) 次年度の取り組み

令和2年当初から全世界を巻き込んだ新型コロナウイルス問題は、地域中小零細企業にとっても大きな問題でありその影響は今も続いている所である。この様な状況下で熊取町商工会としては、次年度もより一層、経営相談支援・専門相談支援、地域活性化事業の浸透を図り、多くの企業に参加活用して頂けるよう各種情報の提供や提案、掘起しなどを積極的に行う。そして事業所に寄添いながら企業の抱える経営課題や問題点を把握した上で問題提起するとともに効果的な解決策を講じる。このように事業所と共に取り組むことで地域の活力を向上させていく。また熊取町と連携を図り情報発信事業やくまとり産業フェアなどを実施して地域の賑わいづくりを推進していく。引き続き創業、事業承継などを最重要課題として次年度も熊取町の活性化に貢献していく。

### 3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 熊取町商工会

#### I 経営相談支援事業

##### 支援のポイント・成果

熊取町商工会では地域商工業者の経営課題を明確にする為に従前から経営指導員間の情報共有を図り窓口相談、巡回相談の積極的な推進を心掛け事業所が抱える経営問題を把握しその問題解決のに向けた手法を提案する事ができ、一年を通して事業所が抱える諸問題の解決に向けた方策等を適切に支援していく事ができた。しかしながら地域内事業所を取り巻く環境は非常に厳しく、様々な支援を求められる状況が続いている。この様な状況下で大阪産業局や各種関係機関や専門家等との連携により高度な案件への対応も行う事ができている。その結果の一つとして29年度から始めた熊取町のマルケイ融資の利子補給制度、更に令和2年度から日本政策金融公庫との連携による金融相談会を開催する事で事業資金を利用して経営を改善できた事業所も増加した。各関係機関と商工会が連携を密にする事により地域の発展に貢献できた。また、ワンストップ的な機能を果たすことにより経営改善等に役立てて頂くこともできた。今後も事業所と商工会とが連携を密にすとは商工会への信頼性・信用性の強化となり更なる各種支援やサービス向上に努め、地域商工業の振興、発展に繋げていきたい。

##### (代表事例)

令和4年7月にクレープ屋を開業。当会主催の創業セミナーをきっかけに当会会員になり、開業届の提出や会計ソフトを活用した記帳支援、従業員の採用に伴う労務支援など新規開業に伴う支援をおこなった。また、販路支援として、当会が運営しているくまとりうまいガイドのホームページに事業所情報を掲載し、ネットを通じた広範囲での販路拡大を行うと同時に、熊取町で発行された地域振興券をからめた支援や当会主催の事業である情報発信事業やくまとり産業フェアへの積極的な参加を促し地域内での認知度を上げていけるように支援をおこない販路開拓をおこなった。

支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	200	197	98.5%	5
支援機関等へのつなぎ	支援数	4	0	0.0%	2
金融支援（紹介型）	支援数	2	3	150.0%	5
金融支援（経営指導型）	支援数	30	11	36.7%	3
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	1	0	0.0%	2
資金繰り計画作成支援	事業所	10	24	240.0%	5
記帳支援	事業所	20	64	320.0%	5
労務支援	支援数	35	32	91.4%	5
人材育成計画作成支援	事業所	1	0	0.0%	2
マーケティング力向上支援	事業所	1	0	0.0%	2
販路開拓支援	支援数	50	57	114.0%	5
事業計画作成支援	支援数	6	6	100.0%	5
創業支援	事業所	5	5	100.0%	5
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	15	4	26.7%	3
コスト削減計画作成支援	事業所	40	51	127.5%	5
財務分析支援	事業所	5	0	0.0%	2
5S支援	事業所	30	0	0.0%	2
IT化支援	事業所	1	1	100.0%	5
債権保全計画作成支援	事業所	1	0	0.0%	2
事業承継支援	事業所	3	19	633.3%	5
災害時対応支援	事業所	0	0	0.0%	2
フォローアップ支援	事業所	50	0	0.0%	2
結果報告	事業所	200	197	98.5%	5

## II 専門相談支援事業

### 支援のポイント・成果

熊取町商工会では年間を通じて税務相談を随時実施した。また確定申告期間を通じて相談会を実施して事業者の持つ複雑な問題を図るべく専門家を招き的確に解決に導く事が出来た。また相談の際に専門家を通じて税制に対する理解を深めて頂くこともできた。また金融相談は、昨年度に引続き日本政策金融公庫と連携して毎月1度の相談会を実施し、成果を上げることができた。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
税務相談	継続	20	20	45	225.0%	5
金融相談	継続	12	12	14	116.7%	5
C相談						
D相談						
E相談						

**Ⅲ 地域活性化事業**

**支援のポイント・成果**

創業セミナーは6年目となり引続き大阪産業局と連携を図り講師を派遣して頂く事で、より高度なセミナーを開催出来ている事と思われる。また熊取町産業活性化基金事業補助金にこの創業セミナー受講者への優遇制度もある事で開業を志す方からの問合せ等も増加し地域の創業支援セミナーとして定着したことで起業をする方の割合も増加傾向にあり地域産業に賑わいをもたらす一助となっている。

情報発信事業は令和2年度から熊取町図書館とコラボしての開催。参加募集を開始すると毎月の予約がほぼ埋まるという人気の事業でもあり毎月1事業所の展示PRとその事業所に関連した図書の展示で相乗効果を狙うなど参加事業所は積極的に事業所のPRが出来る機会となった。

事業承継セミナーは熊取町商工会単独で開催し、大阪産業局から講師を派遣して頂き事業承継に関する基本的な内容をわかり易く、また事業承継に取り組む重要性を紹介して頂いた。参加した事業所の方々の意識の向上を図る事ができた。

平成30年から熊取ブランドとして認定を受けた商品は、地域内での認知度はまだ低く、そこで地域ブランド力向上事業により熊取町と連携を図り熊取駅に設置されているギャラリーコーナーを活用し、地域の魅力がいっぱい詰まったブランド認定商品の認知度の向上と特産品・商品開発に取り組んだ。

くまとり産業フェアは3年ぶりに熊取町農業祭と同時開催ができ新型コロナの対策も万全を期して来場者は7000人と賑わい成功裏に終える事ができた。このフェアは参加事業者にとっては地元住民とのふれあいの場、事業所のPRの場として大きな役割を果たすイベントであると思われる。

**(1) 単独事業**

府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
	創業セミナー	15	13	86.7%	100%	創業に繋がった事業所の割合	10%	15.4%	154.0%	5
	情報発信事業	12	12	100.0%	91.7%	自店・商品等のアピール効果があった事業所数の割合	70%	91.7%	131.0%	5
○	事業承継セミナー	15	13	86.7%	100%	アンケートにて事業承継についての理解と意識付けが深まった割合	70%	100%	142.9%	5
	地域ブランド力向上事業	25	25	100.0%	88%	自店・商品等のアピール効果があった事業所の割合	70%	88%	125.7%	5

**(2) 広域事業（幹事事業のみ）**

府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	くまとり産業フェア事業	40	41	102.5%	95.1%	自店・商品等のアピール・認知度の向上が図れた事業所の割合	70%	68.3%	97.6%	5

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

熊取町商工会

事業名		創業セミナー															
想定する実施期間		H30 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること															
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	開業率が廃業率を下回っている現状が続いており、企業数は減少し続けている。地域を担う新たな起業家の出現が地域活性化に繋がると考える。創業にあたり、必要な手続きに関する基礎的な知識が不足している方も見受けられる。については、スムーズな創業を可能にするため、必要とされる手続きや知識・企業に向けた心構えを身につけていただき具体的なビジネスプランの作成を支援し、事業化を実現させることで、管内の産業活性化を図る。また創業後5年程度の方や不安のある方にも参加頂き、自社の経営を見直す機会としてもらう。															
	支援する対象 (業種・事業所数等)	熊取町内外で創業を希望される方・創業後5年以内の方															
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>★創業セミナー</p> <p>【時 期】7月 テーマ毎に分けて4回実施</p> <p>第1回 7月2日 テーマ：経営 講師：大阪府よろず支援拠点 コーディネーター</p> <p>第2回 7月9日 テーマ：販路開拓 講師：大阪府よろず支援拠点 コーディネーター</p> <p>第3回 7月16日 テーマ：財務 講師：大阪府よろず支援拠点 コーディネーター</p> <p>第4回 7月23日 テーマ：人材育成 講師：大阪府よろず支援拠点 コーディネーター</p> <p>【場 所】熊取町交流センター 講義室A</p> <p>【参加費】無料</p> <p>※創業の心得・開業に伴う手続き・税務関係・公的融資制度の紹介・創業計画書作成のポイント等の内容で実施</p> <p>&lt;事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td>広報誌や掲示板を利用した広報の協力</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td>セミナー受講者に対して、創業支援などを実施。また、カルテ化までには至っていない参加者に対しても個々の状況にあった指導も行った。</td> </tr> </table>								①府施策連携		②広域連携		③市町村連携	広報誌や掲示板を利用した広報の協力	④相談相乗	セミナー受講者に対して、創業支援などを実施。また、カルテ化までには至っていない参加者に対しても個々の状況にあった指導も行った。
	①府施策連携																
	②広域連携																
	③市町村連携	広報誌や掲示板を利用した広報の協力															
④相談相乗	セミナー受講者に対して、創業支援などを実施。また、カルテ化までには至っていない参加者に対しても個々の状況にあった指導も行った。																
計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	15 社	総支援企業数(実績)	13 社	支援実績率	86.7%	満足率	100%									
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	当初、15社の参加を見込んでいたが13社の参加となった。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う中での実施でもあり、計画していた企業数には達しなかった。セミナーに参加した方々の満足度については、アンケートにもあるように創業に向けた取組について概ね理解をいただけた。創業するにあたり、セミナー後、熊取町で実施している創業支援補助金の説明や特定創業の融資枠拡充の相談、(株)日本政策金融公庫にて開業資金の申込みの支援なども行った。セミナー受講後、美容業・小売業で2事業所が起業できた。															
	代表指標	創業に繋がった事業所の割合															
	数値目標	10%	実績数値	15.4%	目標達成度	154.0%											
成果の代表事例	創業セミナーを受講した方が、熊取町の産業活性化基金を活用し、創業準備金として75万円の助成金を受け、美容業や小売業の起業できた。																
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度												
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	感染対策を実施した環境での受講スタイルであったが新型コロナウイルス感染症第7波の影響もあり濃厚接触者等に該当するなど参加出来ない受講者が多くみられた。今後は、会場の環境を整え、オンラインでの参加が出来る様に検討していきたい。また、参加者同士の情報交換、意見交換会を行い、創業への意欲を高める工夫が必要である。															

熊取町商工会

事業名		情報発信事業								
想定する実施期間		H23 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	熊取図書館施設内、商工会展示ブースにおいて、熊取町内の商工業の製品・商品や企業PR・旬の企業情報等を発信する場を提供することにより、町内外の方々に幅広くアピールし、町内商工業の認知度を高めることにより、町内企業との商談・購買等へと促すことにより企業のアピールの一助として活用、情報発信をしていき、ひいては町内商工業の振興・活性化を促していく。また、企業PRの内容に合わせて図書館の本を隣接して展示する事により、企業商品や事業内容などより親しみやすい企業PRが実施出来る取組にも力を入れている。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	町内全事業所								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	熊取図書館内に設置された、商工会展示ブース1枠を1企業1か月単位で展示し、企業の製品・商品等をアピールし商工業の販路開拓の一助とし活用を促していく。また、展示内容と本を使った相乗効果を図るディスプレイを実施し、図書館だから出来る情報発信を提案した。 募集については、DMや指導員が巡回時に紹介等を行い新たな広報の手法の一つとして活用を促した。 <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携								
		②広域連携								
③市町村連携		町と商工会が連携を図りPR等の啓発を促しより多くの方々に来館頂いた。また出展企業においては、展示素材の選定やディスプレイ・顧客等の対応等販路開拓についての支援を行った。								
	④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	12社	総支援企業数(実績)	12社	支援実績率	100.0%	満足率	91.7%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	各々の企業が製品・商品やサービス等をPR、情報発信することにより、多くの方々の目に留まり新たな顧客の獲得や売上の向上につながった。また企業のプレゼンテーションを考える機会を与えることにより、意識の変化や事業活動に活力も与えた。								
		代表指標	自店・商品等のアピール効果があった事業所の割合							
		数値目標	70%	実績数値	91.7%	目標達成度	131.0%			
	成果の代表事例	新規開業された事業所の認知度が低く、町内でPR活動の場を探している事業所が本事業を利用したことにより、展示チラシを持って来店される新規顧客が多くみられた。チラシに付けていたクーポンの効果もあったと思うが新規顧客獲得に繋がり、展示による効果を感じていただけた。								
その他目標値の実績	目標値(計画)						目標値(実績)			目標達成度
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	新型コロナウイルス感染症に伴い、来館者数もコロナ前の水準には戻っていない状況の中、各事業所が工夫を凝らして事業PRを実施した。展示作業の日程が書庫の整理日と限定されている為、事業所によって、その日に展示作業が出来ない場合があった。今後は、図書館と連携を密にし、展示作業についてその都度、臨機応変に対応できるよう調整し、事業者の負担を軽減する様に実施したい。								

熊取町商工会

事業名		事業承継セミナー								
想定する実施期間		R4 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	経営者の高齢化が進む中、深刻な後継者不足が全国的に問題となっている。驚くべきことに、60歳以上の経営者においてはその約半数が後継者不在であることが統計からも判っている。従業員や取引先に迷惑をかけたくないが子供は継いでくれないし、社内に適任と思われる人材もない中、廃業を余儀なくされている例も多くなってきている。そこで、事業承継の重要性を周知し、自社の魅力を後継者へ伝える方法や事業承継の手順実行までを理解していただきたい。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	町内全事業所								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>★事業承継セミナー</p> <p>【時期】10月24日(月)午後2時～午後4時</p> <p>【内容】1部 円滑な事業承継に向けて 2部 事業承継に係る事例の紹介</p> <p>【講師】大阪府よろず支援拠点 チーフコーディネーター及びコーディネーター</p> <p>【場所】熊取交流センター コットンホール</p> <p>【参加者】13名</p> <p>&lt;事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載&gt;</p>								
		①府施策連携	大阪府 経営支援課と連携を図り実施した。							
		③市町村連携	熊取町広報誌及び商工会のDM、Web媒体等を活用し参加事業所を募る。							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	15 社	総支援企業数(実績)	13 社	支援実績率	86.7%	満足率	100%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	基本的な内容で分かりやすく実施。事業承継を先送りする事業所が多いなか、事業承継の成功事例を聞くことで、重要性や取組むことを考えるきっかけとなった。セミナーに参加したことにより、事業承継に取り組む意欲を高めることができた。								
		代表指標	アンケートにて事業承継についての理解と意識付けが深まった割合							
		数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%			
	成果の代表事例	倉庫業を営んでいる事業者が息子に事業を引き継がせる考えをお持ちになっており、本セミナーを受講したことで事業承継に関して理解度が増し、取組む意欲が高まった。								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今回のセミナーでは、事業承継の基本的な課題への対応策を事例を交えながらわかりやすく説明した。基本的な内容で実施したので、一定の成果は得られたと思う。ただ、事業承継に向けた本格的な取組となると今後、更なる部分で理解が必要と感じるところもあり、大阪府事業承継・引継ぎ支援センターや大阪産業局と連携し支援をしていく必要がある。								

熊取町商工会

事業名		地域ブランド力向上事業							
想定する実施期間		R4 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	大阪府南部に位置し、美しい水と緑に囲まれた熊取町には品質に優れた農作物やこだわり溢れる加工品が数多くある。この「熊取らしい魅力」を備えた優れた産品を伝えていきたいという思いから「くまとりやもん」 <sup>TM</sup> としてブランド認定をしている。しかし、熊取ブランドとして認定を受けた商品は、地域内での認知度は低いのが現状である。そこで、地域ブランド情報発信として熊取町と連携の上、熊取駅に設置されているギャラリーコーナーを活用し、地域の魅力がいっぱい詰まったブランド認定商品の認知度の向上と特産品・商品開発に取り組む事業所を増やし、商工業の活性化を図ることを目的に実施する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	地域ブランド『くまとりやもん』認定事業所』							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	熊取駅舎内、くまとりギャラリーコーナーを活用し、地域ブランド認定商品を展示紹介した。また、くまとりにぎわい観光協会事務所【駅下にぎわい館】とも連携し、展示商品の販売可能な商品については、館内販売を実施すると共に、企業の製品・商品等をアピールし、相乗効果を図ることで商工業の販路開拓の一助とし活用を促した。  展示日時：令和4年5月1日【日】～6月30日【木】 展示場所：熊取駅 ギャラリーコーナー  ※期間中2週間ぐらいを目安に認定企業の紹介を入替							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
		②広域連携							
	③市町村連携	町と商工会が連携を図り、くまとりやもん <sup>TM</sup> 認定事業所への周知を行った。また、熊取町からPRする施設を提供して頂いた。							
	④相談相乗								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	25 社	総支援企業数(実績)	25 社	支援実績率	100%	満足率	88%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	アンケート調査の結果、新規顧客獲得や問い合わせ・来店者数の増加など、展示を実施した事業所の大半が店舗のPRに繋がったとの回答を得た。また、店舗のプレゼンテーションを考える機会にもなり、展示物を自店でも活用し、顧客サービスの向上などに積極的に努める事業所も出てくるなど意識の改善にも繋がった。							
		代表指標	自店・商品等のアピール効果があった事業所の割合						
		数値目標	70%	実績数値	88%	目標達成度	125.7%		
	成果の代表事例	展示ディスプレイを見て来店される方があり新規顧客の来店へのきっかけと繋がった。また、継続的な来店をしていただけるような積極的なPR等を心掛けることができた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	昨年12月に熊取駅西口が出来、ギャラリーコーナーが新設された。これにより行政の方で地域ブランド商品のPRを発信していくことになり、同じ内容の事を計画する事が困難になった。これに伴い、次年度は取組みの継続が難しいが、新たな形でブランド力向上の取組みの継続を図る考えである。							

熊取町商工会

事業名

くまとり産業フェア事業

想定する実施期間

H25 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること

事業の概要

事業の目的  
(現状や課題をどのような状態にしたいか)

厳しい環境下にある町内商工業を支援し、そして活性化を図るには、企業等による販売促進活動の支援、新たなビジネスチャンスの創出が必要である。本産業フェアは、自社単独ではできない環境下での潜在的な顧客の開拓、地元商工業の優れた製品・商品等を消費者へ力強くアピールするため、展示・即売・商談・販路開拓等の事業機会を提供し、事業所と消費者との交流を深め消費者ニーズの把握や企業間の情報交換・交流等を行う事で自社の強みや弱みに気づく機会となる。また、本産業フェアの実施に当たり熊取町と連携を図り町農業祭を共同開催することで農業及び商工業の異業種間交流を深め、事業所の意識の高揚をはかり、新たな産業交流が生まれ連携による新規事業の創出を見出すことができる。地元産業の認知度向上、販路拡大等の機会を提供し地域産業の振興、活性化を促すことを目的とする。

支援する対象  
(業種・事業所数等)

泉南市・阪南市・岬町・忠岡町・熊取町商工会内の事業所

実施時期・具体的な内容及び事業手法

くまとり産業フェアと熊取ふれあい農業祭との合同開催  
会議 7/28・9/26・11/10・2/13  
広報 町広報折込16,000部・関係各所へ配布・町広報誌掲載・ホームページへ掲載  
開催日 令和4年12月4日(日)  
開催場所 熊取町立中央小学校グラウンド  
来場者数 約7,000人  
出店事業所数 41店舗

<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>

①府施策連携	大阪府人材育成課、大阪府技能士会連合会と連携を図り、各技能士会によるものづくり教室を開催。
②広域連携	泉南・阪南・岬・忠岡・熊取が連携し、出展者や来場者に対し広域でPRを実施。
③市町村連携	事業の開催を町広報に掲載し幅広くPRを実施。町と連携する事で職員の動員などの協力も得る事が出来た。
④相談相乗	

事業全体の実績／目標達成度

計画に対する実績(数値)

総支援企業数(計画)	40 社	総支援企業数(実績)	41 社	支援実績率	102.5%	満足率	95.1%
------------	------	------------	------	-------	--------	-----	-------

目標の達成度  
(支援企業をどう変化させることができたか)

令和4年12月4日、熊取町立中央小学校で3年ぶりに第11回熊取ふれあい農業祭と同時開催した。来場者も延べ7,000人(熊取町のデータより)となり、町内屈指の大型イベント恒例行事として地域住民には定着しつつある。参加企業は41社(熊取29社、忠岡3社、泉南4社、阪南3社、岬2社)となり地域内の特産品・展示即売など、出店にもディスプレイ等創意工夫がみられ、多くの方にアピールすることができた。また、大阪府人材育成課、大阪府技能士会連合会と連携を図る事で、より一層の盛り上がりを見せ、参加事業所にも好評であった。

代表指標 自店・商品等のアピール・認知度の向上が図れた事業所数の割合

数値目標	70%	実績数値	68.3%	目標達成度	97.6%
------	-----	------	-------	-------	-------

成果の代表事例

居酒屋をされている事業所では、昨年販売した手作り弁当が早々に完売したため、2倍以上の個数を用意したが、今年も好評でイベント終了時間を待たずに完売した。また、保険代理店をされている事業所では、熊取ブランド「くまとりやもん」に認定されている自社商品のオリジナルカレーを実際に食べてもらうため、新たに飲食店営業(露店)許可を取得し、レトルト販売から実食販売に切り替えることで、より効果的にPRすることができた。

その他目標値の実績

目標値(計画)	4,000 人	目標値(実績)	4,566 人	目標達成度	114.2%
---------	---------	---------	---------	-------	--------

例年並みの出展者が集まったことと、熊取ふれあい農業祭と3年ぶりに同時開催できたことにより、例年並みの来場者数に回復した。その上、快晴とはならなかったが天候に恵まれ、終始賑わいが絶えることなく盛況であった。

実施結果

課題及び次期以降への取組み  
(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)

例年並みの規模で開催できたことにより、コロナ禍前の課題であった駐車場不足が深刻化している。その上、熊取町公民館建替え工事の実施に伴い駐車場不足が更に深刻化しているため、開催中は終始満車の状態が続き、来場者がスムーズに入場できない状況にあった。対策として、公共交通機関を利用して来場した方への優遇策や、近隣施設の駐車スペースの開放を実現できるように調整し駐車場不足の解消を目指す。